

山本 敦史

YAMAMOTO, Atsushi



講師

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

✉ atyamamo@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 化学概論、化学実験、環境化分析化学特論

■ 研究者略歴

1993 (平成 5) 年 3月	鳥取県立鳥取高等学校卒業
1997 (平成 9) 年 3月	九州大学理学部化学科卒業
1999 (平成11) 年 3月	九州大学大学院理学研究科化学専攻修了
1999 (平成11) 年 4月	ユニチカ株式会社
2000 (平成12) 年 4月	大阪市立環境科学研究所
2014 (平成26) 年 3月	関西大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士 (工学)
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部講師

Research

■ 取得学位 博士 (工学) (関西大学)

■ 専門分野 環境化学、分析化学

■ 現在の研究テーマ

- ・ 環境中残留性汚染物質の分析、生体影響評価
- ・ 暮らしに身近な化学物質のリスク評価
- ・ 質量分析法を用いた新規分析手法の開発

■ 受賞歴 2017年 (平成29年) 5月 奨励賞 (日本質量分析学会)

■ 所属学会 日本環境化学会、アメリカ化学会、日本質量分析学会

Data

■ 研究等活動

【論文】

- ・ Identification of Anthropogenic Compounds in Urban Environments and Evaluation of Automated Methods for Reading Fragmentation-A Case of River Water Atsushi Yamamoto, Naoko Matsumoto, Hideya Kawasaki, Ryuichi Arakawa Mass Spectrom. (Tokyo), 5, A0045 (2016), doi: 10.5702/massspectrometry.A0045
- ・ A Bayesian approach for estimating hexabromocyclododecane (HBCD) diastereomer compositions in water using data below limit of quantification Makiko Ichihara, Atsushi Yamamoto, Naoya Kakutani, Miki Sudo, Koh-ichi Takakura Environ. Sci. Pollut. Res., 24, 2667-2674(2017), doi: 10.1007/s11356-016-7990-5
- ・ Distribution of perfluoroalkyl compounds in Osaka Bay and coastal waters of Western Japan Vladimir P Beskoski, Katsuya Yamamoto, Atsushi Yamamoto, 他 7 名 Chemosphere, 170, 260-265 (2017), doi: 10.1016/j.chemosphere.2016.12.028
- ・ Reevaluation of stockpile amount of PFOS-containing aqueous film-forming foam in Japan: gaps and pitfalls in the stockpile survey Yasuyuki Zushi, Atsushi Yamamoto, Kiyotaka Tsunemi, Shigeki Masunaga Environ. Sci. Pollut. Res., 24, 6736-6745 (2017), doi: 10.1007/s11356-017-8374-1
- ・ MS技術を応用した環境分野の研究動向 松村千里, 中野武, 東條俊樹, 市原真紀子, 西野貴裕, 山本敦史, 宮脇崇, 水環境学会誌, 39, 436-443 (2016)

【学会・研究会】

- ・ マススペクトルから見つける環境中人為物質 (第 76 回分析化学討論会 岐阜: 2016 年)
- ・ Reading of accurate mass spectra to find anthropogenic substances in the environment 21st International Mass Spectrometer Conference (トロント: 2016 年)
- ・ 高分解能質量分析データと解析ツールを用いた環境中人為物質の同定 第 11 回 Japan Analytical Instruments Active users Network ミーティング (大阪: 2016 年)
- ・ X500R QTOF システムを用いた最新の農業分析 (第 112 回日本食品衛生学会学術講演会 函館: 2016 年)
- ・ 高分解能質量分析法を用いた環境中人為物質の同定 (第 17 回高分子 MS 研究会 大阪: 2016 年)

■ 社会貢献活動

- ・ 第64回質量分析総合討論会 (2016年5月)「質量分析で見る環境と人々の暮らしのかかわり」セッションオーガナイザー
- ・ 鳥取県分析技術勉強会世話人
- ・ ジャパン・ヤング・ウォーター・プロフェッショナルズ(Japan-YWP) 広報担当運営委員 (2010年4月~2016年3月)
- ・ 質量分析講習会企画委員 (2015年11月~)